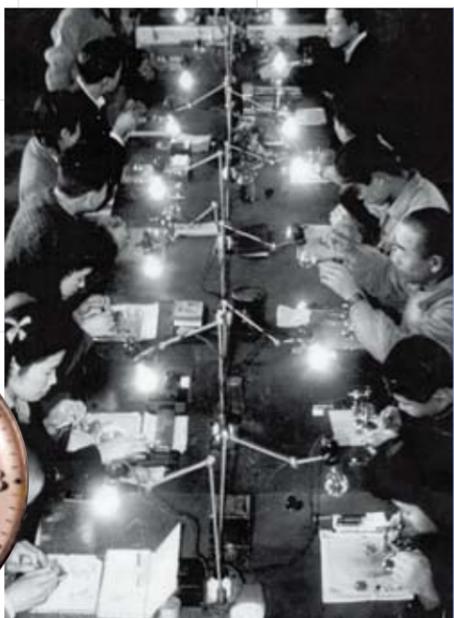


シチズン創立 80周年

尚工舎時計研究所ではじめて
生産された懐中時計



終戦後生産再開した頃の工場

懐中時計の国産化をめざした尚工舎時計研究所を前身としたシチズンは2010年で創立80周年を迎えました。産業国産化の気運が高まっていたなかで産声を上げたシチズンは、第二次世界大戦の戦禍を乗り越え、着々と業容を拡大していきました。

時計事業においては、メカからクォーツ、そしてエコドライブ、電波時計と先駆的技術開発に取り組み、業界をリードし続けてきました。また、時計製造のための機械づくりに取り組んだ結果、さまざまな工作機械も産業界に提供し続けてきました。

時計事業における製造技術、精密技術は電子機器事業への発展をもたらし、さらには水晶振動子、液晶、LEDなどのデバイス分野へ進出し、現在のシチズングループを形成するに至り、日本はもとより世界各地に販売網を拡大してきました。

こうした取り組みは、「市民に愛され市民に貢献する」を企業理念とし社名を「シチズン」とした時点から変わることなく追求してきたことのあらわれであり、この姿勢は今後も変わることはありません。

シチズングループハイライト 2009-2010

シチズングループは、「Micro HumanTech:超小型技術・超精密技術・低消費電力技術」により時計をはじめ、電子デバイス、電子機器、産業用機械など多彩な製品群の提供を通じて、人々の生活の豊かさや産業の発展に貢献しています。

また企業理念である「市民に愛され市民に貢献する」の実践に向けさまざまな活動を行っています。ここでは、シチズングループの2009年～2010年の主な出来事をハイライトとしてご紹介します。

世界に先駆けて開発した技術 「エコ・ドライブ」

日本でエコという言葉が一般的に使われる以前の1995年に、シチズンでは太陽電池を搭載した時計を“エコ・ドライブ”と命名しました。

1996年に時計としてはじめて「エコマーク商品」に認定されて以来、今日までエコドライブは太陽光発電時計の市場をリードし続けてきました。

2009年のパーゼルフェアでは、エコドライブのコンセプトモデルの一つ、エコドライブドームを発表しました。デザインと技術の可能性を追求したCITIZENの未来の可能性を示唆したこのモデルは、文字板を含めたエコドライブのエンジンをケースが包み込むような斬新なデザインで、光のエネルギーを身に蓄積するというコンセプトを表現しています。



創立80周年記念モデル「エコドライブドーム」

照明用LEDで消費電力 約1/10を実現

シチズン電子では、多様な照明用LEDパッケージを提供しています。それらのパッケージにおいて、世界最高レベルを誇る高出力・高効率タイプ、特に赤の見え方を大幅に向上させた高演色タイプなど、さまざまな用途に適した多彩な製品を提供しています。

2009年に発表した照明用LED「CL-L103シリーズ」(6W)は同等の明るさの白熱電球(60W)と比較して、消費電力を約1/10、CO₂排出量に換算すると907kg削減することが可能です。(40,000時間点灯の場合)

今後、地球規模で取り組まなければならない温暖化対策に向けて、このLED照明の優れた環境性能を利用してさまざまな場面で貢献できることが期待されています。



照明用LED CL-L103シリーズ(6W)

現代の名工 ～マイスターによるものづくり～

1967年、平和時計製作所(現シチズン平和時計)に入社。

以来43年間、時計のムーブメントの組み立てから完成品組み立てに従事し、2005年には社内規定で最も優れた技能をもつ「スーパーマイスター」にただ一人選ばれました。

量産の立ち上げから後進の育成、ものづくりの楽しさを伝える地域活動にも精力的に貢献し、2006年には「時計組立・修理工」職種で卓越技能(信州の名工)、そして2009年度、厚生労働大臣表彰「現代の名工」を受賞しました。

卓越した技能者の表彰式



「現代の名工」とは

卓越した技能をもち、その道で第一人者とされている技能者を毎年一回、厚生労働大臣が表彰する制度。技能者の地位および技能水準の向上を図るとともに、青少年がその適性に応じ、誇りと希望をもって技能労働者となり、その職業に精進する気運を高めることを目的としている。



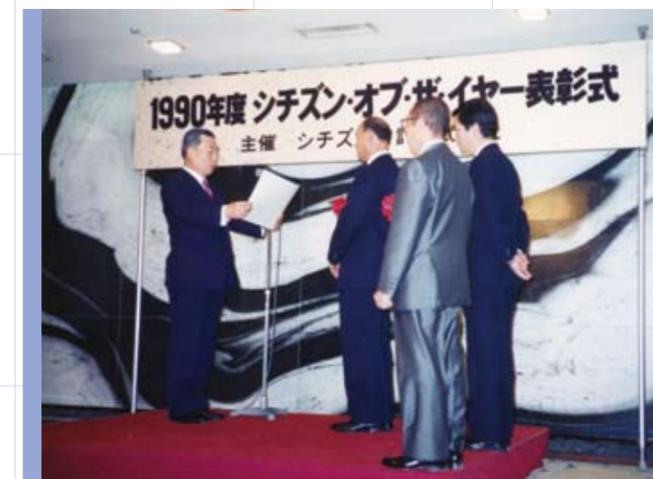
シチズン平和時計 時計製造部
技能育成担当部長
スーパーマイスター
橋場 悦子

社会に感動を与える人々を 応援し続けた20年

市民に感動を与え、市民社会の発展や幸せ、魅力づくりに貢献した市民を選び毎年顕彰している「シチズン・オブ・ザ・イヤー」。

2009年度の受賞者発表と表彰式が2010年1月27日に行われました。

今回で20回目を迎える表彰式はグループ各社の社長および従業員85名、マスコミ22社が出席し、例年以上に心温まる会となりました。



シチズン・オブ・ザ・イヤー第一回表彰式

詳細は次頁をご覧ください。